

	各社の考え方
□ 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none">● 当社グループは「地球温暖化の防止」「資源循環・省資源の追求」「化学物質の適正管理」を重点目標に環境経営を推進している。地球環境保全のために、サプライチェーン全体における取り組みが今後ますます重要になると考えている。● 近年、CDPや環境経営度調査など、サプライチェーンでの排出量に関する外部からの質問が増加してきている。
□ 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none">● サプライチェーン全体の排出量を把握し、効率的な削減方策の検討とその効果確認に活用する。● 当社では環境・エネルギー製品を提供していることから、カテゴリ11(製品の使用)の算定結果を製品による貢献指標と捉えて製品開発を促進するとともに、社外へのアピールにも活用する。● CDPや環境経営度調査などの調査へ回答するとともに、CSRレポート等へ掲載して当社グループの取り組みをアピールする。
□ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none">● サプライチェーン排出量の効率的な削減に繋がる。● 当社製品の環境性能や環境保全への取り組みについて社外へアピールすることができる。● CDPや環境経営度調査などの調査へ透明性の高い回答が可能となる。
□ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none">● 環境部門が社内の関連部門からデータを収集し、集計・算定する。● 算定の正確性を向上させ、且つ効率的に算定を進めるために、関連部門を巻き込んだ仕組みの構築が必要。

	各社の考え方
<p>□ サプライチェーン排出量の削減に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境・エネルギー製品では、エネルギー使用効率が重要な製品特長となるため、日々効率向上を目指して製品開発を行っている。 ● LCAの仕組みを構築し、社内へ展開を行っている。 ● 物流部門では、排出量の原単位管理を実施中であり、削減目標を定めて改善に取り組んでいる。輸送・梱包それぞれによる排出量を把握し、モーダルシフト、積載率向上、梱包材の削減などの取り組みを行っている。
<p>□ サプライチェーン排出量算定の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動量の把握が困難なものや、正確な把握に多大な手間を必要とするものがあり、すでにScope3算定結果を公表されている企業様ではどのように対応されているのか大変気になるところである。サプライチェーン排出量削減を推進していく上では、企業間の情報交換による相互のレベルアップが有効だと思われる。 ● 特に、カテゴリ1、11、12は全ての製品において包括的に情報を得ることは極めて難しいと感じており、一次データの入手確保を前提とした仕組みや体制を構築することが不可欠である。
<p>□ その他(任意)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 算定に当たっての方針として、まずは正確性を求めずに算定範囲を広めることを優先し、次に全体の排出量に占める割合が大きいカテゴリの算定に注力した。 ● また、今後算定結果を自社の取組みの指標として採用するカテゴリについては、正確性を上げることに力を注ぐ。

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 製品単位当たりの素材使用量	● LCA-Pro(LCA支援ソフト)を使用
カテゴリ2「資本財」	● 設備投資額	● 資本財の価格当たり排出原単位
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● 燃料・電気・蒸気・冷温水のエネルギー使用量	● 電気・熱使用量当たりの排出原単位、CFP-DB
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	● 燃料使用量(燃料法)、輸送距離/燃料(燃費法)、輸送トンキロ(トンキロ法)	● 温対法算定・報告・公表制度における【輸送】に関する排出係数
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別排出量	● 廃棄物種類別原単位
カテゴリ6「出張」	● 従業員数	● 従業員当たり排出原単位
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 従業員数	● 従業員数・勤務日数当たり排出原単位
カテゴリ8「リース資産(上流)」	● 対象から除外	● 対象から除外
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	● 対象から除外	● 対象から除外
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● 対象から除外	● 対象から除外
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 製品の販売量、生涯使用時間、時間当たりのエネルギー使用量	● LCA-Pro(LCA支援ソフト)を使用
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 製品単位当たりの素材使用量	● LCA-Pro(LCA支援ソフト)を使用
カテゴリ13「リース資産(下流)」	● 対象から除外	● 対象から除外
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 対象から除外	● 対象から除外
カテゴリ15「投資」	● 対象から除外	● 対象から除外